

訂 正

日本史

記 号 (R)

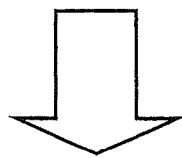
下枠の内容を一字一句正しく板書してください。
板書した訂正内容に誤りがないかを必ず複数の監督者で
照合してください。

<訂 正>

「日本史」

10 ページ 下 から 3 行目

(誤) … (イ) 義時…



(正) … (イ) 貞時…

以 上

〔 I 〕 次の(A)~(C)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 江戸時代に入ると文治政治が行われるようになり、儒学のもつ意義は増大した。特に朱子学は大義名分論を重視したため、封建社会を維持する教学として、幕府や藩に重んじられた。

朱子学一派である南学は戦国時代に土佐で開かれたとされ、その系統から山崎闇斎が出た。闇斎は神道を儒教流に解釈して(1)神道を説き、尊王論のさきがけをなした。

朱子学に対し、(2)は明の王陽明の説を学び、朱子学が理論に偏る傾向にあると批判して、知行合一を重んじる立場をとった。(2)は主著『大学或問』で武士土着論を説き、幕政を批判した。

また、朱子学も陽明学も、ともに後代の学者の解釈にすぎないとして退け、直接、孔子・孟子の原典に帰ろうとする古学もおこった。古学の祖とされる山鹿素行は、『(3)』を著して朱子学を批判した。京都の町人出身の学者である伊藤仁斎は京都堀川の私塾(4)で、『論語』などを原文に即してわかりやすく解釈した。江戸では、柳沢吉保に仕え、徳川吉宗の諮問に応じて『政談』を提出した(5)が、中国古代の言語を研究して古典の解釈を試みた。

(B) 幕藩体制に動揺が見られるようになると、それをどのように克服すべきかという点から、社会のあり方そのものを見直し、古い体制を改革してそこから脱する方法を具体的に模索する動きが現れた。町人の出資で設立された大坂の懐徳堂からは、『夢の代』を著した(6)が出て、合理主義の立場から儒教や仏教を批判し、無神論を説いた。八戸の医者(7)は『自然真営道』を著し、すべての人が農耕して衣食する「自然の世」が理想であると説き、土から離れて自然の生命につながりを持たなくなった武士が支配する社会を否定した。(8)は、西洋諸国との交易や蝦夷地開発による富国策を説いた。

(C) 明治に入り，政府は西洋文明の摂取による近代化の推進をはかり，西洋の産業技術や社会制度，学問・思想，さらには生活様式までも率先して取り入れようとした。このため，それまでの儒教・神道による考え方や習慣が時代遅れとして排斥され，かわって自由主義や功利主義，個人主義などの欧米の近代思想が流行した。(9)が翻訳した『西国立志編』といった書物の登場も，こうした流行を支えた。明治初期には，イギリスの自由主義・功利主義的な思想家として知られる(10)の著書がよく読まれた。

[語群]

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| (ア) 聖教要録 | (イ) 山片蟠桃 | (ウ) 海保青陵 |
| (エ) 中江兆民 | (オ) 経済録 | (カ) 唯一 |
| (キ) 服部南郭 | (ク) 適々斎塾 | (ケ) 本多利明 |
| (コ) 復古 | (サ) ダーウィン | (シ) 荻生徂徠 |
| (ス) 護園塾 | (セ) 大塩平八郎 | (ソ) 中江藤樹 |
| (タ) 佐藤信淵 | (チ) 安藤昌益 | (ツ) ルソー |
| (テ) 熊沢蕃山 | (ト) 中村正直 | (ナ) 古義堂 |
| (ニ) ミル | (ヌ) 垂加 | (ネ) 富永仲基 |
| (ノ) 童子問 | (ハ) 二宮尊徳 | (ヒ) 西周 |
| (フ) 土橋友直 | (ヘ) 室鳩巢 | (ホ) 石田梅岩 |

〔Ⅱ〕 次の(A)・(B)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 隋にかわって中国を統一した唐は大帝国を築き、均田制・租庸調制・府兵制を整備して強大な中央集権体制をとった。唐の首都である(1)では、世界的な都市として国際的な文化が花開いた。(2)天皇によって710年に遷都した平城京は、この(1)にならい、東西南北に走る道路で区画された条坊制をもつ都市であった。日本は唐と通交するようになり、日本からの遣唐使は大使をはじめ、留学生・学問僧なども加わり、多いときには約500人の人々が4隻の船に乗って渡海した。このような遣唐使船の様子は、日本に戒律を伝えた(3)の事跡を描いた行状絵巻にみられる。遣唐使たちは、唐から先進的な政治制度や国際的な文化をもたらし、日本に大きな影響を与えた。このなかには(4)や玄昉のように、帰国後は聖武天皇に重用され、橘諸兄政権を支えた人物も含まれていた。

朝鮮半島を676年に統一した新羅は、統一以前は日本に対して服属的な態度であったが、国力が充実するにつれて対等な関係を求めた。しかし、日本は新羅を従属国として扱おうとしたため、友好的な関係とはならなかった。その影響で8世紀以降は、遣唐使の航路も東シナ海を横断する危険な南路をとった。新羅との関係悪化の一方で、中国東北部などに住む^{まっかつ}靺鞨族や旧高句麗人を中心に建国された多民族国家の渤海とは、友好的に通交した。727年に渤海使が来日して毛皮や人参をもたらし、日本からは遣渤海使を派遣して絹・綿などが贈られた。渤海の東京城からは皇朝十二銭の一つである(5)が出土しており、当時の交流関係をうかがい知ることができる。このように、日本と長く親交関係があった渤海であるが、926年に(6)の侵攻を受けて滅ぼされた。

(B) 894年に菅原道真は遣唐大使に任じられたが、唐の衰退と航路の危険などを理由に、派遣中止を(7)天皇に建言した。唐が衰退したきっかけは、755年から8年にわたった(8)の乱であり、律令体制は崩壊し、地方では治安が悪化した。結局、道真を大使とする遣唐使は派遣されずに終わり、唐も907年に滅びた。

その後、中国では五代十国の諸王朝が興亡し、五代最後の王朝である後周の武将から天子についた趙匡胤が960年に宋(北宋)を建国し、979年には中国を統一した。当時、日本は宋と国交を開かなかったが、商人や僧の交流は頻繁であった。交易を通じて輸入された物品には、書籍や(9)、薬品などがあり、輸出品には奥州産の金や真珠などがあった。また、人々の交流として、僧の(10)らが渡宋しているが、この僧は宋の渡航許可を得ないまま、1072年に宋商人の船に便乗して海を渡り、天台宗の根本道場である天台山に登り、ついで文殊菩薩の霊地とされる五台山を巡礼した。

〔語群〕

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| (ア) 成尋 | (イ) 元明 | (ウ) 建康 |
| (エ) 黄巾 | (オ) 和同開珎 | (カ) 吐蕃 |
| (キ) 円珍 | (ク) 西夏 | (ケ) 鑑真 |
| (コ) 醍醐 | (カ) 義淵 | (シ) 吉備真備 |
| (ス) 仏哲 | (セ) 文武 | (ソ) 契丹(遼) |
| (タ) 黄巢 | (チ) 宇多 | (ツ) 富本銭 |
| (テ) 高向玄理 | (ト) 洛陽 | (ナ) 安史 |
| (ニ) 硫黄 | (ヌ) 裔然 | (ネ) 水銀 |
| (ノ) 清和 | (ハ) 乾元大宝 | (ヒ) 元正 |
| (フ) 長安 | (ヘ) 阿倍仲麻呂 | (ホ) 陶磁器 |

〔Ⅲ〕 次の(A)～(C)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 新井白石の説に、天下の大勢(①)変して武家の代と為り、武家の世又(②)変して徳川の代に及ぶと云ひ、其外諸家の説も大同小異なれども、此説は唯日本にて政権を執る人の新陳交代せし模様を見て幾変と云ひしのみのことなり。都てこれまで日本に行はるゝ歴史は、唯王室の系図を詮索するもの歟、或は君相有司の得失を論ずるもの歟、或は戦争勝敗の話を記して講釈師の軍談に類するもの歟、大抵是等の箇条より外ならず。稀に(③)に関係せざるものあれば仏者の虚誕妄説のみ、亦見るに足らず。概して云へば日本国の歴史はなくして日本(③)の歴史あるのみ。学者の不注意にして国の一大欠典と云ふ可し。新井先生の読史余論なども即ち此類の歴史にて、其書中に天下の勢変とあれども、実は天下の大勢の変じたるに非ず、天下の勢は早く既に王代の時に定まりて、治者と被治者との二元素に区別し、兵農の分るゝに及て益この分界を明にして、今日に至るまで一度びも変じたることなし。^④

問1 この史料は、ある人物の全集に収録されている『文明論之概略』である。

その人物は誰か。

(ア) 久米邦武 (イ) 福沢諭吉 (ウ) 田口卯吉

問2 文中の(①)と(②)に入る語句の組合せとして、正しいものはどれか。

(ア) ①七 ②三 (イ) ①八 ②四 (ウ) ①九 ②五

問3 文中の(③)に入る語句はどれか。

(ア) 政府 (イ) 国民 (ウ) 文化

問4 下線部④「兵農の分るゝに及て益この分界を明にして、今日に至るまで一度びも変じたることなし」という主張の一方で、『文明論之概略』が刊行された時点では、徴兵制が実施されていた。1873年に公布された徴兵令により、選抜を経て3年間の兵役に服することになったのは、満何歳に達した男性か。

- (ア) 18歳 (イ) 20歳 (ウ) 25歳

問5 新書『「文明論之概略」を読む』や論文「超国家主義の論理と心理」などで知られる政治学者は誰か。

- (ア) 長谷川如是閑 (イ) 南原繁 (ウ) 丸山真男

(B) 現内閣ハ一銀行一商店ノ救済ニ熱心ナルモ、支那方面ノ我ガ居留民及対支貿易ニ付テハ何等施ス所ナク、唯々我等ノ耳ニ達スルモノハ、其ノ惨憺タル暴状ト、 而シテ政府ガ弾圧手段ヲ用イテ、之等ノ報道ヲ新聞紙ニ掲載スルコトヲ禁止シタルコトナリ。之ヲ要スルニ、今日ノ恐慌ハ現内閣ノ内外ニ対スル失政ノ結果ナリト云フヲ憚ラズ。一銀行一会社ノ救助ノ為ニ、既ニ二億七百万円、今復タ二億ノ補償義務、合計シテ四億七百万円ノ鉅額ヲ、人民ノ膏血ヨリ出タル国帑ノ負担ニ帰セシメントシ、支那ニ在留スル数万ノ同胞ニ対シテハ殆ド顧ル所ナシ。一般国民ハ之ヲ見テ果シテ如何ナル感慨ヲ生ズベキ乎。刻下到ル処思想ノ悪化シツツアル情勢ニ顧ミ、前途ヲ慮ルトキハ 軋タ悚然タラザルヲ得ザルナリ。

(『伯爵伊東巳代治』)

問6 この史料は、ある機関の顧問官を務めていた伊東巳代治の発言である。

その機関はどこか。

- (ア) 枢密院 (イ) 貴族院 (ウ) 企画院

問7 下線部⑤「現内閣」とは、第1次若槻礼次郎内閣のことである。この内閣の大蔵大臣・片岡直温の失言をきっかけとして起きた恐慌はどれか。

- (ア) 戦後恐慌 (イ) 震災恐慌 (ウ) 金融恐慌

問8 下線部⑥「一銀行一商店ノ救済」に関する説明として、正しいものはどれか。

- (ア) 若槻内閣は、鈴木商店に対する不良債権を抱えた東京渡辺銀行を救済しようとして失敗した。
(イ) 若槻内閣は、鈴木商店に対する不良債権を抱えた朝鮮銀行を救済しようとして成功した。
(ウ) 若槻内閣は、鈴木商店に対する不良債権を抱えた台湾銀行を救済しようとして失敗した。

問9 下線部⑦「支那方面」に関連して、この発言の前年から中国で国民革命軍を率いて北伐を進めたのは誰か。

- (ア) 孫文 (イ) 蔣介石 (ウ) 毛沢東

問10 下線部⑧「刻下到ル処思想ノ悪化シツツアル情勢」に関連して、この発言の前年に杉山元治郎らによって結成された合法無産政党はどれか。

- (ア) 日本共産党 (イ) 労働農民党 (ウ) 社会大衆党

(C) 私の信ずるところでは日本は目下厳しい経済を余儀なくされている。しかし現在とられている国内的な方針政策は、合理的でもなく現実的でもない。すなわち日本の経済は両足を地につけていず、竹馬に乗っているようなものだ。竹馬の片足は、米国の援助、他方は国内的な補助金の機構である。竹馬の足をあまり高くしすぎると転んで首を折る危険がある。今たゞちにそれをちゞめることが必要だ。つゞけて外国の援助を仰ぎ、補助金を増大し、物価を引き上げることは(⑩)の激化を来すのみならず、国家を自滅に導く恐れが十分にある。

(『朝日新聞』)

問11 この史料は、GHQ財政顧問のドッジが記者団と会見した際の談話である。ドッジが来日した時点の内閣総理大臣は誰か。

(ア) 片山哲 (イ) 芦田均 (ウ) 吉田茂

問12 下線部⑨「現在とられている国内的な方針政策」とは、重要産業部門に資材と資金を集中する傾斜生産方式による生産復興政策のことである。この傾斜生産方式を提唱した経済学者で、法政大学総長や日本学士院長などを歴任したのは誰か。

(ア) 有沢広巳 (イ) 森戸辰男 (ウ) 美濃部亮吉

問13 下線部⑩「米国の援助」に関連して、占領地行政救済資金(ガリオア資金)による緊急食糧輸入は1945年からいつまで実施されたか。

(ア) 1947年 (イ) 1951年 (ウ) 1955年

問14 ドッジによる施策の一環として、単一為替レートが設定された。その際、1ドルは何円とされたか。

(ア) 180円 (イ) 240円 (ウ) 360円

問15 文中の(⑪)に入る語句はどれか。

(ア) インフレ (イ) スタグフレーション (ウ) デフレ

〔Ⅳ〕 次の先生と学生の会話文の(1)～(15)について、(ア)～(ウ)の中から最も適切な語句を選び、その記号をマークしなさい。

先生：この3年間苦しめられたコロナウイルス感染症の流行もようやく収束に向かいました。感染症の流行は世界史上でもたびたびあったことですが、現代人が長らく忘れていた疫病の脅威を思い知らされたことでした。

学生A：これだけ大きな感染症の世界的流行は約100年ぶりだそうですね。

学生B：そうそう。今回のコロナ禍中に何度も回想されていたけれど、スペイン風邪と呼ばれた流行性感冒が1918年から1920年にかけて世界中で流行しました。

学生C：日本でも約2400万人が感染して、約39万人が亡くなったとされています。

先生：今回のパンデミックでも、約100年前の経験を生かす努力が行われ、実際に過去の教訓が生きた場合もあったようだ。100年前の歴史を振り返ることも、意味があることなのだよ。

学生C：今から100年前の1924年には、第二次護憲運動が行われています。貴族院を基礎に組閣した清浦奎吾内閣に対して、憲政擁護を主張する(1){ア}立憲民政党 (イ)立憲自由党 (ウ)憲政会}などの三党が倒閣運動を起こし、総選挙の結果、護憲三派が勝利しました。

学生B：勝利した三党は、(2){ア}加藤高明 (イ)尾崎行雄 (ウ)高橋是清}を首班とする護憲三派内閣を組織しました。

先生：議会で多数を占めた政党が内閣を組織する、いわゆる政党内閣制が定着した時代で、このあと犬養毅内閣まで政党内閣が継続することになります。

学生C：それからさらに200年さかのぼってみると、どうでしょう。

学生B：年表で調べてみると、1724年には大坂で大火があり、市街の大半が焼失したとあります。

学生A：ときは江戸時代で、将軍には徳川(3){ア}綱吉 (イ)家宣 (ウ)吉宗}が就任していました。

学生C：儉約令を出して支出を抑え、米価の安定をはかることに苦心した将軍ですよね。

先生：大坂の(4) {ア 堂島 (イ) 天満 (ウ) 雑喉場}にあった米市場の相場が全国に大きく影響したので、(3)はこの米市場を公認して、米価の平準化をめざしたんだよ。

学生C：その大坂で大火があったことは、米価にも影響したのでしょうか。

学生A：大坂城代が中心となって火消しにつとめ、市中の倉を開いて被災者を救済したようです。

学生D：さらに100年さかのぼった1624年には、(5) {ア イギリス船 (イ) ポルトガル船 (ウ) スペイン船}の来航が禁止されました。

先生：キリスト教の布教によって南蛮人が日本を侵略することを恐れたとか、貿易によって西国諸藩が富強になることを恐れたなどということが背景にあるようだ。

学生B：前年の1623年には、徳川家光が将軍となり、1624年には(6) {ア 元和 (イ) 寛永 (ウ) 慶安}と改元されました。

先生：その通り。将軍家光の時代には日本人の海外渡航が禁止され、外国船の来航が制限されるなど、いわゆる鎖国政策が進められたんだ。

学生C：ここから200年さかのぼって、1424年には何がありましたか。

学生A：年表では、疱瘡が流行したと書かれています。疫病が流行したのですね。

学生B：ときは室町時代で、将軍は足利義量でした。

学生D：義量の父は足利(7) {ア 義持 (イ) 義教 (ウ) 義満}です。(7)は上杉禪秀の乱を平定するなど、幕府の力を示しました。将軍と守護大名の勢力が均衡し、比較的安定した時代だったようです。

先生：短命だった足利義量の時代をへて、やがて嘉吉の乱や応仁の乱が起こり、戦国時代へと展開していくのだね。

学生A：さらに200年さかのぼった1224年はどうですか。

学生B：北条(8) {ア 時政 (イ) 義時 (ウ) 泰時}が執権となっています。

学生D：この3年前に京都の上皇方を打ち破って、武家政権の実力を示した人物ですね。

学生C：この争乱のあと、京都には六波羅探題が置かれ、朝廷の監視や西国の統括などにあたりました。

先生：そう、よく知っているね。六波羅は京都における武家政権と関係の深い土地だった。

学生A：たしか、平治の乱で勝者となった(9){(ア) 源義朝 (イ) 藤原信頼 (ウ) 平清盛}の邸宅が六波羅にあったのですよね。

学生D：六波羅には六波羅蜜寺があります。友だちと出かけたことがあります。鎌倉時代に(10){(ア) 康勝 (イ) 快慶 (ウ) 康弁}が制作した空也像を見て感激しました。

先生：そこから200年さかのぼった1024年は、(11){(ア) 一条 (イ) 三条 (ウ) 後一条}天皇の時代です。この天皇の母は藤原彰子で、藤原道長・頼通の父子が政権を主導しました。

学生A：道長や頼通は幼い天皇の外祖父として実権を握ったのですね。

学生C：摂関政治が全盛期を迎えた時代といえますね。

学生D：道長も領有した摂関家の邸宅が、(12){(ア) 法住寺殿 (イ) 東三条殿 (ウ) 白河殿}で、頼通のころから藤原氏を象徴する邸宅となりました。

学生A：代表的な寝殿造建築なので、博物館などに行くと、復元模型を見かけることがありますね。

先生：敷地の中央に寝殿(正殿)があり、東対や池・中島も設けられて、ここを舞台に盛大な儀式や宴会が行われました。

学生C：さらに200年さかのぼった824年は、天長元年と改元された年です。当時の都は平安京で、この前年に淳和天皇が即位しています。

学生B：平安京は結果的に約1100年の間、都となりますが、何度か首都ではなくなる危機がありました。

先生：そうだよ。たとえば、810年に(13){(ア) 藤原京 (イ) 平城京 (ウ) 長岡京}へ遷都しようとする動きがありました。

学生B：その後、1180年には大輪田泊の近くの福原への遷都が実行されました。

学生C：何度かの危機を乗り越えて、「千年の都」といわれるようになったのですね。

学生A：そこから200年さかのぼると624年になります。

先生：624年には僧尼を取り締まるために、僧正・僧都という職が置かれました。仏教が伝来して70～80年がたち、法を犯す僧尼が出てきたので、仏教教団に自律的に僧尼を統制させる必要が出てきたんだ。

学生A：最初の僧正に任命されたのは(14){ア 惠慈 (イ) 曇徴 (ウ) 観勒}です。

学生C：日本に暦法や天文・地理の書を伝えた百済僧ですね。

先生：厩戸皇子(聖徳太子)や蘇我馬子の努力で儒教や仏教の理解も進み、飛鳥文化が開化したけれど、さらに中国や朝鮮半島から新しい文物を導入する試みが続けられたんだ。

学生D：624年の段階で、中国や朝鮮半島には(15){ア 隋・高句麗 (イ) 唐・百済 (ウ) 宋・新羅}などの国々が存在し、日本はそうした諸国に使節を派遣して、先進文化の導入につとめました。

学生A：100年、200年ごとに歴史を振り返ってみると、教科書に載っている有名な事件のほかに、大阪のような身近な場所でも、本当にいろいろなことが起こっていたことが分かりますね。

学生B：大火事や感染症など今でも恐れられている災害や疾病に、私たちの祖先も長く苦しんできたのですね。

先生：100年、200年という単位で歴史をさかのぼると、さまざまな出来事があったことがよく理解できますね。今の時代にも繰り返される災害や疫病がみられたほか、憲政擁護運動や海外からの文化の導入など、やはり現在とも関わる動きがありました。大きな感染症が収束した約100年前の出来事だけでなく、さまざまな場面で歴史を振り返りながら、広い視野や豊かな発想で現在や未来を考えることの大切さを知ってもらえたら嬉しいです。

(以上)